

アジア競技大会を活用した地域活性化ビジョンに係るアイデアソン開催結果

1. アイデアソンの概要

高校生及び大学生、若手社会人といった若者が地域活性化方策を検討し、実現可能な事業アイデアへと結びつける足掛かりとすることを目的として実施しました。

日時	平成 30 年 10 月 20 日（土） 午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
場所	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス西館 社会連携ゾーン SHAKE
参加者	30 名（学生：14 名、社会人：16 名） 各チーム 5 名で 6 つのチームを編成
討議テーマ	テーマ①「アジア特有の競技（カバディ等）の普及」 テーマ②「スポーツボランティアの発掘・育成」
テーマの課題提供者	日本カバディ協会愛知県支部 支部長 寺岡 卓朗 氏 JSVN スポーツボランティア・コーディネーター 榎原 考佐 氏
審査員	日本 IBM 株式会社 コグニティブエクスペリエンスプロデューサー 岡田 明 氏 株式会社トライアスリート 代表取締役 竹内 鉄平 氏 なごや若者会議 代表 伊富貴 直也 氏
協力	若手サミット（社会人グループ）、名城大学社会連携センター

2. 実施概要

午前中は、テーマに関する現状と課題について、実際に現場に携わる方々からお話をお聞きした上で、関心のあるテーマが共通するメンバーでチームを組成しました。

午後は、ターゲットとなる人物を具体的に想定したペルソナを設定し、その人物が抱えている課題とその解決策を検討しました。

3. 各チームのアイデア

様々なペルソナを設定し、それぞれが抱える課題に対する解決の方策についてアイデアを出し合い、独自性の高い提案が示されました。課題へのアプローチは多様ですが、「IT 技術の活用」や「承認欲求の充足」、「SNS 映え」といったキーワードは、多くのチームに共通して見られました。

	チーム名	ペルソナ	アイデアの概要
テーマ①	愛と勇気とカバディ	19 歳 男子大学生	<ul style="list-style-type: none"> カバディプレイヤーを疑似体験できるアプリを開発 体験会の開催を SNS やアプリ広告を通じて PR 若者の利用が多い媒体を活用しカバディへの関心を惹く
	カバディやってみよう！	35 歳 女性(主婦)	<ul style="list-style-type: none"> カルディコーヒーとコラボしたカバディイベントで PR イベントをきっかけとして、カバディ体験会へ誘導 子どもの習い事としてのきっかけとなる場をつくる
	カバディを止めるな	20 歳 男子大学生	<ul style="list-style-type: none"> モーションキャプチャを活用したカバディ体験会を開催 有名人をアンバサダーとするなど、広告宣伝を重視 SNS 映えを重視し、カバディのイメージを向上させる

テーマ②	【優勝】 #スポボラ女子	40歳 女性	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアアワードのアプリを開発 ・ボランティアの参加状況によって表彰 ・ボランティア同士が評価をしあい、参加意欲を高める
	Change My Mind	21歳 女子大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの参加でポイントがたまるアプリを開発 ・音声認識技術を活用し、「ありがとう」もポイント化 ・ポイント化により、承認欲求を満たす
	フレッシュマン	16歳 男子高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・画像認識技術を活用し、ボランティアの様子を発信 ・学校通信のSNSページにボランティアの画像を掲載 ・「ボランティアしている自分」を友人に知ってもらう

4. 参加者の感想（参加者アンケートより）

アイデアソン自体の感想の他、カバディやスポーツボランティア、そしてアジア競技大会に対する関心も高まり、今後も何らかの形で携わっていきたいという声が多く聞かれました。

5. 当日の様子

